

更生訓練所だより



目次

更生訓練所だより

(第2号)

発行: 2005.12

- ・ 行事
- ・ 特集:入所者・修了者の声
 - 6か月間の生活訓練を受けて
 - キャンプについて
 - 野外訓練から学んだこと
 - 社会見学に参加して
 - 生活訓練を受けて
 - 大分国際車いすマラソンに出場して
- ・ センター内のちょっとした工夫・設備

- ・ 点字を学ぼう！
- ・ トピックス:マルチメディアDAISYについて
- ・ 福祉用具の紹介
- ・ 障害者自立支援法の成立による変更点
- ・ 入所者募集の御案内
- ・ 編集後記

[更生訓練所だよりホームページへ...](#)

行事

平成17年度 主な行事

平成17年4月～11月

6/24	体育祭
7/14	一般リハ課程野外訓練(～7/15)
7/23	理療教育課程夏季休業(～8/23)
7/29	生活訓練課程野外訓練
7/30	一般リハ課程夏季休業(～8/21)
8/6	生活訓練課程夏季休業(～8/21)
10/15	リハ並木祭

平成17年12月

1日	理療教育課程面接選考
2日	理療教育課程面接選考
9日	障害者週間記念式典
17日	理療教育課程冬季休業(～1/9)
22日	第22回 業績発表会
23日	一般リハ課程・生活訓練課程冬季休業(～1/4)

平成18年1月

10日	生活訓練入所式
13日	入所者新成人を祝う会
16日	一般リハ課程(聴覚)入所式

平成18年2月

6日	生活訓練課程入所式
20日	一般リハ課程(肢体)入所式
25日	あん摩マッサージ指圧師国家試験
26日	はり師・きゅう師国家試験

平成18年3月

1日	理療教育課程卒業式
8日	理療教育課程終業式
24日	一般リハ課程・生活訓練課程終業式

行事から 「第26回リハ並木祭」

10月15日(土)、第26回リハ並木祭を国リハと職リハの共催で開催。当日は雨に降られることもなく盛大に実施することができました。

今年度は一般公開の時間を少しでも増やすため、前日の16時から開会式。テーマ『大きくはばたこう 自分の未来 世界の未来』が応募83作品の中から、ポスターは12作品の中から選ばれ、表彰が行われました。

参加企画総数では過去26回中最多の76企画。入所者の訓練・クラブ紹介、模擬店などの他、福祉施設等の地域団体は市外からの応募も受け入れて、昨年度の6団体から17団体に増加。国リハと職リハの間にテントが並んで多くの来場者で賑わい、手作り作品の展示販売も大変好評でした。

また、陸上競技場では、「ASエルフェン狭山FC」によるサッカー教室や「NPO 法人モンキーマジック」によるフリークライミングが大人気。多くの家族連れが参加していました。一方、講堂では聴覚入所者によるサンバの披露、軽音楽部によるライブ演奏。12回目となる東京サロンオーケストラによる生演奏では、入所者の歌や生訓入所中の小俣由佳さんのビオラでの共演も好評で、会場は立ち見が出るほどの大盛況でした。

リハ並木祭実行委員会事務局では入所者、職員、地域参加団体の方々を対象にアンケートを実施。「楽しかった」「来年も実施してほしい」などの意見が目立っています。また、現在の1日開催ではなく、以前のような2日開催を希望するとの意見も多く寄せられています。リハ並木祭が入所者や御家族、修了生、地域との交流の場として多くの方々との出会いになれば幸いです。



特集：入所者・修了者の声

6か月間の生活訓練を受けて

生訓90期 吉沢 清

私は弱視ろう（目が見えにくい、耳が聞こえにくい）です。コミュニケーション方法は触手話です。私の訓練希望はパソコン、点字、歩行でした。でも実際にはその希望以外の訓練（体育、ロービジョン、日常生活、調理）も一緒に受けました。

私は調理が嫌いでした。今までは“サッポロ一番みそラーメン”だけは作ることができましたが、訓練ではその他にも色々なおかずを作ることになったのでちょっぴり戸惑いました。パソコンはワード、メール、インターネットを使うことができるようになりました。点字は指先で読むのに慣れるのが大変でした。歩行については、白杖の使い方がよく分からなかったなので、安全に歩けるように訓練を受けたいと思いました。自宅のそばの車がすれ違うのがやっとなというような狭い道でも、白杖で道の脇を確認しながら安全に歩けるようになりました。

生訓修了後、家に帰ってきてから毎週2回はヘルパーと調理をしています。自信があるのはスパゲティのカルボナーラやボンゴレです。おいしくできるようになったので、料理の達人になりたいなあと思いました。

最後に、職員の皆さんお世話になりありがとうございました。



特集:入所者・修了者の声

キャンプについて

生訓92期 三浦 友貴

7月29日に生活訓練課で名栗村という所へキャンプに行きました。これまで事前に調理班とレクリエーション班に分かれて話し合いを進めてきました。

行きのバスの中では、レク班が考えだしてくれたゲームをやりながらキャンプ場まで行きました。

キャンプ場についてから始めに開村式を行い、それから昼食の準備や野外で行うレクリエーションの準備をしました。調理班が考えてくれた昼食のメニューは、カレーライス、野菜サラダ、フルーツポンチでした。カレーは、シーフードとチキンの2種類があり、味はどちらも最高でした。食べ終わった後、休憩が1時間ぐらいあったので、川に入りました。水の流れは勢いがとても速くサンダルが脱げそうでした。2時からレクリエーションで輪投げとボールたたきの二つのゲームをやりました。輪投げの方はあまり難しくはなかったのですが、ボールたたきの方はどこにボールがあるのか感覚がつかみにくかったです。最後に全員で記念写真を撮り後片づけをして、国立リハビリセンターに帰ってきました。とても楽しいキャンプになりました。



特集:入所者・修了者の声

野外訓練から学んだこと

生訓93期 渡邊 昭雄

平成17年7月29日。その日は晴れ、いかにも夏といった感じで絶好のキャンプ日和となりました。また、そこで食べた2種類のカレーライスもまた格別でした。

私はレク班を担当することになり、及ばずながら協力させていただきました。行きのバスでは山手線ゲーム、時間当て、○×ゲームを、野外では輪投げ、ボールたたき、そして、帰りのバスでのビンゴとレク班の中でそれぞれ各ゲームごとに担当者を決め、補助として職員がつくといいかたちでレクを行いました。レクの最中は時には笑いもあり、時には真剣になったり勉強になったり、さらに野外では暑い中汗をかきながらゲームに参加しました。帰りのバスでは、皆さん疲れているにもかかわらずビンゴゲームで盛り上がりました。

今回のキャンプで学んだことは、やはり一つのことをやりとげるためには、関わる人達が協力しあわなければ達成できないんだなということで、改めて実感することができました。普段の生活の中では、このような経験は、自分から動かない限りなかなかできないものです。そういう意味ではとても良い経験となりました。

最後にお世話になった職員の皆様、また、ここでお世話になった皆様に感謝します。本当にありがとうございました。



特集:入所者・修了者の声

社会見学に参加して

生訓92期 宮城 かし子

去る9月14日、立川市にある防災館へ行き、地震や火事などの災害について学ぼうという趣旨の下、社会見学が行われた。ここではさまざまな災害の体験プログラムが用意されており、実際にインストラクターの説明を受けながらそれぞれについて知ることができる。私たちはその中で、煙体験、地震体験(震度7)、消火器訓練、そして応急処置(心臓マッサージ、人工呼吸)について学んだ。

最近巷では災害についての関心が高まり、テレビなどでも特集番組として取り上げられているのをよく目にする。しかしそれらは私にとってあくまでイメージの世界となってしまうと、いまいち危機感を持たずにいたというのが正直なところである。

そんな中で今回四つの体験をさせていただいたことは、とても实际的でたいへん貴重なものとなった。事前にできる対策や事が起きてしまったからの対応など、今回教わったことを踏まえた上で、視覚障害者である私たちは他にどのような工夫をこらし、より安全に行動しなければならないのかということは今後考えていきたいと思う。



特集：入所者・修了者の声

生活訓練を受けて

生訓89期・理療教育課程 坂本 理香

昨年の9月から6か月間生活訓練を受け、現在理療教育課程に在学しています。まさかの失明から10年が経ち、少しは自分の気持ちにゆとりが持てるようになったものの、慣れない環境の中での訓練は、かなりの不安がありました。

しかし、今まで不可能だった歩行や日常生活での様々なことが少しずつ可能になっていく喜びは、自分への勇気と自信に繋がったような気がします。生活訓練で学んだ点字やパソコンは、理療教育課程での学習にも、とても役立っています。

その他、調理訓練の中で紹介していただいた様々な補助具などは、私達、視覚障害者にとっては画期的で実用的なもので、実際に現在活用しているものも多数あります。6か月間優しく見守ってくださった先生方には、大変感謝しております。

これからも努力を怠らず、自分の可能性を信じて、チャレンジャー精神で頑張ります。



特集:入所者・修了者の声

大分国際車いすマラソンに出場して

一般リハ肢体 107期 羽賀 理之
107期 山本 正典
108期 五反田 法行

10月30日(日)に大分国際車いすマラソンに出場してきました。車椅子になって初めて飛行機に乗って、大分には金曜日の夜に着きましたが、もうすでに車椅子のランナーがたくさんいました。

土曜日には開会式と選手同士の交歓の宴がありました。いろんな催しがあって海外の選手が盛り上がっていました。さらに海外の障害者スポーツ協会の会長が近くに来て握手をしました。(羽賀)

当日の朝は体を温めるために3人で大分市内を走りました。そして会場に着き、ウォーミングアップをするために決められたコースを走りました。時速30キロ~40キロで走る選手達が、僕等の隣をもの凄いスピードで走っていくため最初はぶつかりそうで怖かったです。スタートの時間になりスタート地点に行き、そこで選手の多さに驚きました。その数約400名でした。(山本)

イエーイ、午前11時にフルマラソン。その3分後にハーフマラソンがスタートしました。いざスタートして最初は好調で走っていたんですが、上り坂に入り、なかなか思うように登れなくて体力をすごく消耗してしまい5キロ地点まで走ったんですが、27分という時間制限をオーバーしてしまい失格になりハーフマラソン完走することができなかったんですが、でも二人が無事に完走してくれたので自分も嬉しくなりました。自分は完走することはできなかったんですが大会に参加してすごくよかったなと思っています。来年もまた挑戦して、今度は完走できるように頑張ります。(五反田)



[記録:ハーフマラソンT52クラス 男子9位 羽賀 1:16:38 T51クラス 男子3
位 山本 1:47:04]



センター内のちょっとした工夫・設備

センター内のちょっとした工夫・設備1



名称：聴覚障害者用情報機器
災害発生など非常時に映像で情報を伝えます。日常のお知らせにも使用しています。東棟や食堂などに設置

センター内のちょっとした工夫・設備2



名称：カーブミラー
廊下の曲がり角(天井の下)等に設置されています。



点字を学ぼう！

あ い う え お
か き く け こ
さ し す せ そ
た ち つ て と
な に ぬ ね の

は ひ ふ へ ほ
ま み む め も
や ゆ よ
ら り る れ ろ
わ を ん



(問題) 何と読むでしょうか？
答えは次ページ



トピックス

マルチメディアDAISYについて

～ITを最大限に利用した教材コンテンツをつくろう！

理療教育部 館田 美保

「DAISY」とは、Digital Accessible Information System＝アクセシブルな情報システムという意味です。従来、視覚障害のある方の情報手段に「音声」があり、カセットテープがその媒体として役割を果たしておりましたが、DAISYは、1枚のCDに1冊の本がまるごと入り、図書にある章や節、ページを自由に検索し読めるものとして、1998年に登場しました。そして今、DAISYは音だけではありません。パソコンを用いて、文字、画像、点字までも同時に表示できるものとなりました。平成16年12月、当センター更生訓練所においては、世界に広がるマルチメディアDAISYが始めて紹介され、『情報アクセス支援』と題しまして職員を対象とした制作講習会をスタートさせました。あれから、1年が経過しようとしておりますが、現在は、函館、神戸、塩原、福岡の視力障害センターにも、制作講習会がリレー式に展開されております。今後は、入所者の皆さん、一人一人のニーズに応えられる再生ツールも含め、生活、授業、自己学習、臨床の場面に応じて必要な教材コンテンツを開発していきたいと考えております。

参考：DAISY情報

<http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/index.html>



- 写真はマルチメディアDAISYの例(防災マニュアルの作成にて)
背景の色、文字の色と大きさ、文書の位置などを選ぶことができます。そし

て音声で文字が読み上げられ、その部分の文字を画面上強調することもできます。

(点字の答え:おさけ)



福祉用具の紹介

この冊子の各ページの角にある四角い形をしたバーコードのようなものが何なのかを御存知ですか。このバーコードの名称は「SPコード」といいます。SPコードには各ページに書かれている文字が記憶されており(ひとつのSPコードに日本語約800字)、専用の機器を使うことで文字を音声として読み上げることができます。現在「スピーチオ」と「テルミー」があり、視覚障害者用活字文書読上げ装置として日常生活用具に認定されています。またSPコードは専用のソフトによりパソコンで簡単に作成できます。
※写真はスピーチオです。



スピーチオ

価格:115,000円(非課税)

製造元: [廣濟堂スピーチオ販売\(株\)](#)

電話:03-5484-8827

テルミー

価格:99,800円(非課税)

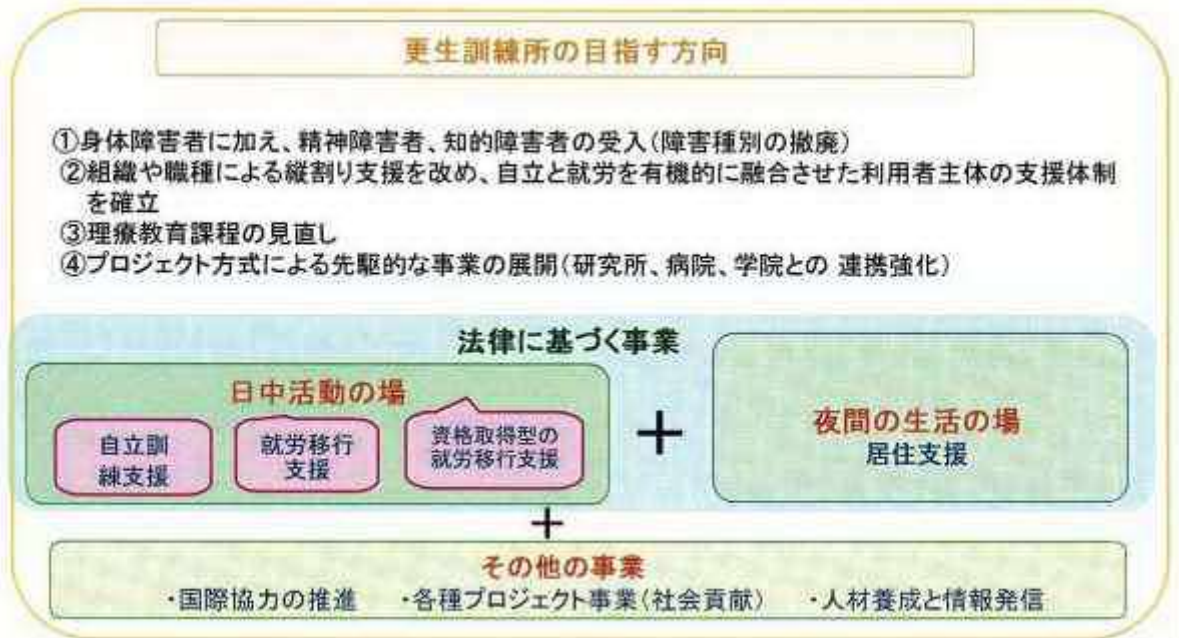
製造元: [日本福祉サービス\(株\)](#)

電話:03-5155-8139



障害者自立支援法の成立による変更点

1 更生訓練所の訓練について



2 利用者負担について



利用者負担について

— 障害者自立支援法の成立により平成18年4月から実施 —

1 応能負担から応益負担へ

所得に応じた負担から、利用するサービス量に応じた負担(原則1割の負担)へ



2 上記負担についての軽減措置

(1) 定率負担分については、次の軽減措置があります。

① 利用者本人の属する世帯の収入等に応じて、4つに区分し負担上限を設定します。

◆ 生活保護世帯 0円 ◆ 低所得者1 15,000円 ◆ 低所得者2 24,600円 ◆ 一般 37,200円

② 低所得者に対しては、一定の条件により個別減免(3年間の経過措置)を実施します。

(2) 食費、光熱水費の実費負担は、一定の条件により軽減措置を実施します。

(注) 上記の軽減措置の具体的な内容は検討中であり、後日詳細についてお知らせします。

国立身体障害者リハビリテーションセンター更生訓練所



入所者募集の御案内

更生訓練所 理療教育課程の二次募集について

理療教育課程の目的

視覚に障害のある方を対象にあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師を養成するための教育訓練を行い、職業的自立によって社会参加を促進すること

対象者

身体障害者手帳(視覚障害)の交付を受けた15歳以上の方で、宿舎での自立生活または通所で理療教育を継続的に受けることが可能な方

入所申請締め切り

平成18年2月10日(必着)

一般リハビリテーション課程、生活訓練課程では随時、入所者を募集しています。

入所相談、見学について、詳しくは下記にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

国立障害者リハビリテーションセンター

更生訓練所 相談判定課

TEL 04-2995-3100(代表)

FAX 04-2992-4525(直通)

<http://www.rehab.go.jp/index.html>



編集後記



所沢の空気も身の引き締まる季節になりました。紙面には秋の面影を残しています。

生活訓練課程では「生訓通信」を入所者及び修了生、関係機関に送付していましたが、今年度から「更生訓練所だより」に合併してお送りします。

御感想を前頁までお寄せください。

